

科学技術の潮流

(125)

JST研究開発戦略センター

5つの研究連合

フランスには公的研究機関・大学が加盟する研究連合（アリアンス）という仕組みがあり、国の研究イノベーション政策に深く関わっている。現在、エネルギー、ライフサイエンス、情報通信技術（ICT）、人文社会、環境の5分野のアリアンスが組織されている。

イノベーション政策の立案に際して、一部の

計画に落とし込む役割を、各アリアンスは柔軟な組織を生かすつ、政府や資金助成機関である仏国立研究機構（ANR）と共同で

主要機関が参加

集団に限らない広く集められた研究者と政府が共同して戦略を構築するために設置された。政策の方向性に対し専門的知見を述べ、イノベーション政策に

トを運営する国立科学研究センターが参加しており、大学の研究者も参加する。加盟数26を数え、国内のめばしい研究機関がほぼ揃うので、定期的な理事長会議はトップ間の貴重な情報交換の場にもなっている。

仏、研究者自ら政策関与



科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター フェロー（海外動向ユニット） 八木岡 しおり

明治学院大学文学部フランス文学科卒業。安田信託銀行（現みずほ信託銀行）退職後に渡仏、ブルゴーニュ大学通年講座修了。日本アルカテル・ルーセントで国内製造業向け販売に従事。在日フランス商工会議所勤務を経て17年より現職。

環境アリアンスでのテーマ別議論

7つの分野グループ	6つの横断研究チャレンジ
<ul style="list-style-type: none"> 大気 海洋 陸水 土壌 植物 動物 固体地球 	<ul style="list-style-type: none"> 変わりつつある国土 気候変動への適応と緩和 生物多様性 自然と環境のリスク 持続可能都市 変わりつつある食物とエネルギーと環境：資源の持続性

リアンスが提示した「持続可能性科学」はANRの22年計画の横断的研究の七つの柱の1番目となっている。（金曜日に掲載）